

償還 運用報告書 (全体版)

<償還日 2019年3月1日>

D I A M欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	2014年3月7日から2019年3月1日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「D I A Mケイマン・ファンド-ダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン (毎月決算) クラス」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「D I A Mマネーマーケットマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として、円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に欧州の金融機関が発行するユーロ建てのハイブリッド証券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 投資対象とする外国投資信託において原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日 (原則として毎月2日。休業日の場合は翌営業日。) に、経費控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：ユーロ・プライム

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)

■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	額			投資 組入	信託 証比率	純資産 総額
			税金 分配	み 騰	期 落			
	(設定日) 2014年3月7日	円 10,000	円 -	期 騰	期 落	% -	% -	百万円 1,636
第1作成期	1期(2014年4月2日)	9,966	0			△0.3	98.0	1,700
	2期(2014年5月2日)	9,997	20			0.5	97.9	1,729
	3期(2014年6月2日)	9,844	20			△1.3	97.9	1,630
	4期(2014年7月2日)	9,882	20			0.6	98.0	1,584
	5期(2014年8月4日)	9,764	20			△1.0	97.9	1,543
	6期(2014年9月2日)	9,818	20			0.8	97.8	1,533
第2作成期	7期(2014年10月2日)	9,854	20			0.6	97.6	924
	8期(2014年11月4日)	10,050	20			2.2	97.8	722
	9期(2014年12月2日)	10,636	20			6.0	97.7	490
	10期(2015年1月5日)	10,475	20			△1.3	96.0	400
	11期(2015年2月2日)	9,683	20			△7.4	97.1	276
第3作成期	12期(2015年3月2日)	9,972	20			3.2	97.5	257
	13期(2015年4月2日)	9,558	20			△4.0	94.1	245
	14期(2015年5月7日)	9,951	20			4.3	97.4	231
	15期(2015年6月2日)	9,939	20			0.1	97.4	231
	16期(2015年7月2日)	9,729	20			△1.9	97.1	204
	17期(2015年8月3日)	9,868	20			1.6	97.1	207
第4作成期	18期(2015年9月2日)	9,606	20			△2.5	97.2	183
	19期(2015年10月2日)	9,473	20			△1.2	97.2	146
	20期(2015年11月2日)	9,525	20			0.8	97.2	147
	21期(2015年12月2日)	9,375	20			△1.4	97.6	137
	22期(2016年1月4日)	9,360	20			0.1	94.9	137
	23期(2016年2月2日)	9,296	20			△0.5	94.8	136
	24期(2016年3月2日)	8,600	20			△7.3	94.4	126
第5作成期	25期(2016年4月4日)	8,984	20			4.7	96.6	120
	26期(2016年5月2日)	8,725	20			△2.7	96.4	117
	27期(2016年6月2日)	8,673	20			△0.4	97.6	108
	28期(2016年7月4日)	8,043	20			△7.0	97.4	100
	29期(2016年8月2日)	8,197	20			2.2	97.3	90
	30期(2016年9月2日)	8,312	20			1.6	97.3	91
第6作成期	31期(2016年10月3日)	8,127	20			△2.0	97.2	85
	32期(2016年11月2日)	8,241	20			1.6	97.2	86
	33期(2016年12月2日)	8,564	20			4.2	97.2	81
	34期(2017年1月4日)	8,774	20			2.7	97.3	83
	35期(2017年2月2日)	8,680	20			△0.8	97.2	82
	36期(2017年3月2日)	8,612	20			△0.6	97.2	72

作成期	決算期	基準価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税金 込配 み金	期騰 落率		
第7作成期	37期(2017年4月3日)	円 8,566	円 20	% △0.3	% 97.2	百万円 72
	38期(2017年5月2日)	8,787	20	2.8	97.2	74
	39期(2017年6月2日)	9,097	20	3.8	97.2	76
	40期(2017年7月3日)	9,285	20	2.3	97.2	77
	41期(2017年8月2日)	9,565	20	3.2	97.3	79
	42期(2017年9月4日)	9,575	20	0.3	97.3	79
第8作成期	43期(2017年10月2日)	9,684	20	1.3	97.3	78
	44期(2017年11月2日)	9,778	20	1.2	97.2	76
	45期(2017年12月4日)	9,844	20	0.9	96.8	75
	46期(2018年1月4日)	9,877	20	0.5	96.7	75
	47期(2018年2月2日)	9,938	20	0.8	96.5	72
	48期(2018年3月2日)	9,405	20	△5.2	96.5	68
第9作成期	49期(2018年4月2日)	9,356	20	△0.3	96.5	67
	50期(2018年5月2日)	9,393	20	0.6	96.5	68
	51期(2018年6月4日)	8,954	20	△4.5	97.6	63
	52期(2018年7月2日)	8,940	20	0.1	97.6	62
	53期(2018年8月2日)	9,119	20	2.2	97.6	64
	54期(2018年9月3日)	8,913	20	△2.0	97.5	62
第10作成期	55期(2018年10月2日)	9,121	20	2.6	97.5	64
	56期(2018年11月2日)	8,799	20	△3.3	97.4	62
	57期(2018年12月3日)	8,641	20	△1.6	97.3	60
	58期(2019年1月4日)	8,491	20	△1.5	97.2	56
	59期(2019年2月4日)	8,540	20	0.8	97.1	56
	(償還日) 2019年3月1日)	(償還価額) 8,483.64	0	△0.7	-	56

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■当作成期中の基準価額の推移

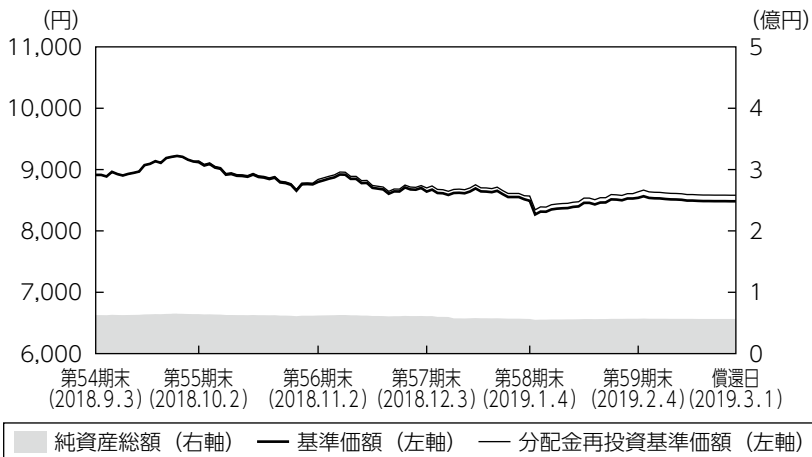
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第 55 期	(期 首) 2018 年 9 月 3 日	円 8,913		% -	% 97.5
	9 月 末	9,161		2.8	97.3
	(期 末) 2018 年 10 月 2 日	9,141		2.6	97.5
第 56 期	(期 首) 2018 年 10 月 2 日	9,121		-	97.5
	10 月 末	8,764		△3.9	97.2
	(期 末) 2018 年 11 月 2 日	8,819		△3.3	97.4
第 57 期	(期 首) 2018 年 11 月 2 日	8,799		-	97.4
	11 月 末	8,701		△1.1	97.1
	(期 末) 2018 年 12 月 3 日	8,661		△1.6	97.3
第 58 期	(期 首) 2018 年 12 月 3 日	8,641		-	97.3
	12 月 末	8,516		△1.4	96.9
	(期 末) 2019 年 1 月 4 日	8,511		△1.5	97.2
第 59 期	(期 首) 2019 年 1 月 4 日	8,491		-	97.2
	1 月 末	8,529		0.4	96.9
	(期 末) 2019 年 2 月 4 日	8,560		0.8	97.1
第 60 期	(期 首) 2019 年 2 月 4 日	8,540		-	97.1
	2 月 末	8,484		△0.7	-
	(償還日) 2019 年 3 月 1 日	(償還価額) 8,483.64		△0.7	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■設定以来の運用経過（2014年3月7日から2019年3月1日まで）

第10作成期の基準価額等の推移



第55期首： 8,913円
 償還日： 8,483.64円
 （既払分配金100円）
 騰落率： $\Delta 3.7\%$
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期については、ハイブリッド証券利回りと国債利回りとの格差を示す信用スプレッドの拡大を背景にハイブリッド証券市場が下落し、為替市場においてもユーロ/円相場が円高ユーロ安となったこと等がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

また、当ファンドは設定来で3.8%下落しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金1,160円）。ハイブリッド証券の収益がプラス寄与となりましたが、為替市場においてユーロ/円相場が円高ユーロ安となったこと等がマイナスに寄与しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス	$\Delta 3.3\%$
D I A Mマネーマーケットマザーファンド	0.0%

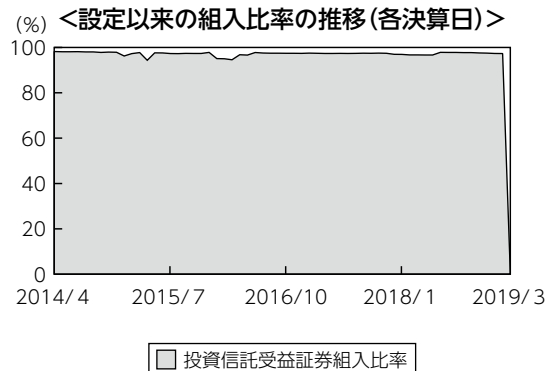
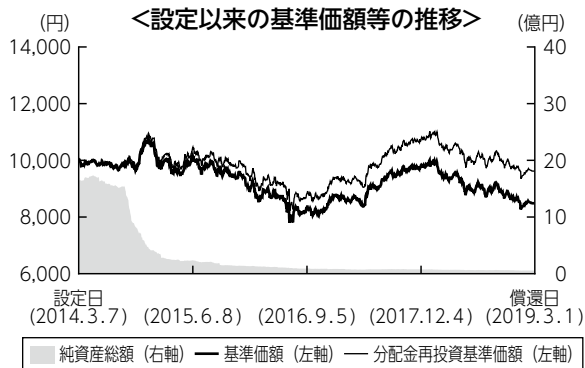
- (注1) D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。
- (注2) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間（D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラスは2019年2月20日まで、D I A Mマネーマーケットマザーファンドは2019年2月25日まで）の騰落率です。

設定来の投資環境

ＥＣＢ（欧州中央銀行）による積極的な金融緩和政策により、ドイツ国債利回りは低下（価格は上昇）しました。また、信用スプレッドは一時的に拡大する局面はあったものの、主要金融機関が自己資本比率を高める等バランスシートの強化を進めてきたことや、国債利回りが低位で推移する中で高い利回りを求める投資家の需要を背景に、概ね安定的に推移したことなどから、ハイブリッド証券市場は良好なパフォーマンスとなりました。

為替市場では、ユーロ／円相場は円高ユーロ安となりました。ＥＣＢおよび日銀はともに積極的な金融緩和政策を実施しました。2016年6月に英国の国民投票でＥＵ（欧州連合）からの離脱が多数になったことを受け、ユーロは対円で大幅に下落しました。その後、欧州経済の回復を受け、ＥＣＢが量的緩和の終了に向けて準備を進める中、ユーロも回復しましたが、設定時の水準までは至りませんでした。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは設定当初から0.0%程度で推移しました。日銀が2016年1月にマイナス金利政策を発表した後、3ヵ月物国庫短期証券利回りは大幅に低下しました。その後は上下に推移しながら、作成期末にかけて概ね△0.17%程度まで上昇しました。



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマーケットマザーファンドへの投資も行いました。

●D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス

欧州の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、英国・ドイツ・オランダのウェイトを相対的に高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債を徐々に引き上げました。

●D I A Mマネーマーケットマザーファンド

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2018年9月4日 ～2018年10月2日	2018年10月3日 ～2018年11月2日	2018年11月3日 ～2018年12月3日	2018年12月4日 ～2019年1月4日	2019年1月5日 ～2019年2月4日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.22%	0.23%	0.23%	0.23%	0.23%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	848円	850円	852円	853円	860円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第55期～第60期		項目の概要
	(2018年9月4日～2019年3月1日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	48円	0.555%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,703円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(19)	(0.222)	
(販売会社)	(28)	(0.317)	
(受託銀行)	(1)	(0.016)	
合計	48	0.555	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況（2018年9月4日から2019年3月1日まで）

投資信託受益証券

		第 55 期 ～ 第 60 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 貨 建	DIAMケイマン・ファンドーダイアム・ ヨーロッパ・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス	千口	千円	千口	千円
		—	—	7.10596	58,258

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年9月4日から2019年3月1日まで）

	第 55 期 ~		第 60 期	
	設 定		解 約	
	<input type="checkbox"/> 数	金 額	<input type="checkbox"/> 数	金 額
D I A Mマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 151	千円 152

■利害関係人との取引状況等（2018年9月4日から2019年3月1日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。第9作成期末の組入れは以下の通りでした。

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 9 作 成 期 末	
	<input type="checkbox"/> 数	金 額
D I A Mケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド カレンシーオープン（毎月決算）クラス	千口 7.10596	
合 計	千口 7.10596	

(2) 親投資信託残高

	第 9 作 成 期 末	
	<input type="checkbox"/> 数	金 額
D I A Mマネーマーケットマザーファンド	千口 151	

■投資信託財産の構成

2019年3月1日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 56,575	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	56,575	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月2日)、(2018年11月2日)、(2018年12月3日)、(2019年1月4日)、(2019年2月4日)、(2019年3月1日)現在

項 目	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末	償 還 時
(A) 資 産	64,506,273円	62,252,584円	61,147,214円	56,743,800円	57,077,910円	56,575,747円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,629,959	1,657,268	1,681,745	1,643,113	1,668,779	56,575,747
投資信託受益証券(評価額)	62,724,308	60,443,295	59,313,448	54,948,636	55,257,110	—
D I A M マ ネ ー マ ー ケ ッ ト マザーファンド(評価額)	152,006	152,021	152,021	152,051	152,021	—
(B) 負 債	198,567	201,403	200,504	190,717	187,312	45,996
未 払 収 益 分 配 金	141,008	141,036	141,065	133,200	133,236	—
未 払 信 託 報 酬	57,559	60,367	59,439	57,517	54,076	45,780
未 払 利 息	—	—	—	—	—	216
(C) 純資産総額(A-B)	64,307,706	62,051,181	60,946,710	56,553,083	56,890,598	56,529,751
元 本	70,504,281	70,518,300	70,532,864	66,600,105	66,618,129	66,633,817
次 期 繰 越 損 益 金	△6,196,575	△8,467,119	△9,586,154	△10,047,022	△9,727,531	—
償 還 差 損 益 金	—	—	—	—	—	△10,104,066
(D) 受 益 権 総 口 数	70,504,281口	70,518,300口	70,532,864口	66,600,105口	66,618,129口	66,633,817口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,121円	8,799円	8,641円	8,491円	8,540円	—
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C/D)	—	—	—	—	—	8,483円64銭

(注) 第54期末における元本額は70,489,966円、第55期～償還時における追加設定元本額は91,473円、同解約元本額は3,947,622円です。

■損益の状況

〔自 2018年 9月 4日 至 2018年10月 2日〕〔自 2018年10月 3日 至 2018年11月 2日〕〔自 2018年11月 3日 至 2018年12月 3日〕〔自 2018年12月 4日 至 2019年 1月 4日〕〔自 2019年 1月 5日 至 2019年 2月 4日〕〔自 2019年 2月 5日 至 2019年 3月 1日〕

項 目	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期	第 60 期
(A) 配 当 等 収 益	213,114円	213,090円	213,066円	201,077円	201,079円	△731円
受 取 配 当 金	213,179	213,179	213,179	201,179	201,179	-
受 取 利 息	4	-	-	-	2	1
支 払 利 息	△69	△89	△113	△102	△102	△732
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,449,615	△2,280,998	△1,129,847	△1,005,720	308,444	△327,733
売 買 益	1,449,615	15	-	15,607	308,474	-
売 買 損	-	△2,281,013	△1,129,847	△1,021,327	△30	△327,733
(C) 信 託 報 酬 等	△57,559	△60,367	△59,439	△57,517	△54,076	△45,780
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	1,605,170	△2,128,275	△976,220	△862,160	455,447	△374,244
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△7,349,861	△5,885,699	△8,155,010	△8,753,458	△9,748,818	△9,426,607
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△310,876	△312,109	△313,859	△298,204	△300,924	△303,215
(配 当 等 相 当 額)	(310,032)	(311,222)	(312,460)	(296,172)	(297,710)	(299,060)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△620,908)	(△623,331)	(△626,319)	(△594,376)	(△598,634)	(△602,275)
(G) 合 計 (D+E+F)	△6,055,567	△8,326,083	△9,445,089	△9,913,822	△9,594,295	△10,104,066
(H) 収 益 分 配 金	△141,008	△141,036	△141,065	△133,200	△133,236	-
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△6,196,575	△8,467,119	△9,586,154	△10,047,022	△9,727,531	-
追 加 信 託 差 損 益 金	△310,876	△312,109	△313,859	△298,204	△300,924	-
(配 当 等 相 当 額)	(310,032)	(311,222)	(312,460)	(296,172)	(297,710)	(-)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△620,908)	(△623,331)	(△626,319)	(△594,376)	(△598,634)	(-)
償 還 差 損 益 金	-	-	-	-	-	△10,104,066
分 配 準 備 積 立 金	5,674,666	5,686,419	5,699,045	5,390,578	5,437,135	-
繰 越 損 益 金	△11,560,365	△13,841,429	△14,971,340	△15,139,396	△14,863,742	-

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 分配金の計算過程

項 目	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
(a) 経費控除後の配当等収益	205,797円	152,789円	153,691円	143,627円	179,793円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	310,032	311,222	312,460	296,172	297,710
(d) 分 配 準 備 積 立 金	5,609,877	5,674,666	5,686,419	5,380,151	5,390,578
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	6,125,706	6,138,677	6,152,570	5,819,950	5,868,081
(f) 1万口当たり当期分配対象額	868.84	870.51	872.30	873.86	880.85
(g) 分 配 金	141,008	141,036	141,065	133,200	133,236
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
1万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年3月7日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年3月1日			資産総額	56,575,747円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は 追加信託	負債総額	45,996円	
				純資産総額	56,529,751円	
受益権口数	1,636,252,187口	66,633,817口	△1,569,618,370口	受益権口数	66,633,817口	
元本額	1,636,252,187円	66,633,817円	△1,569,618,370円	1万口当たり償還金	8,483円64銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	1,706,822,480円	1,700,973,995円	9,966円	0円	0.00%	
第2期	1,730,032,433	1,729,490,267	9,997	20	0.20	
第3期	1,656,851,523	1,630,936,003	9,844	20	0.20	
第4期	1,603,286,251	1,584,319,695	9,882	20	0.20	
第5期	1,581,215,089	1,543,907,318	9,764	20	0.20	
第6期	1,562,352,531	1,533,949,665	9,818	20	0.20	
第7期	938,393,430	924,701,091	9,854	20	0.20	
第8期	719,335,784	722,925,258	10,050	20	0.20	
第9期	461,518,247	490,865,113	10,636	20	0.20	
第10期	382,745,580	400,926,654	10,475	20	0.20	
第11期	285,967,888	276,888,473	9,683	20	0.20	
第12期	258,410,634	257,678,156	9,972	20	0.20	
第13期	256,901,005	245,553,947	9,558	20	0.20	
第14期	232,554,656	231,410,870	9,951	20	0.20	
第15期	232,581,134	231,152,796	9,939	20	0.20	
第16期	210,546,118	204,830,432	9,729	20	0.20	
第17期	210,653,681	207,872,549	9,868	20	0.20	
第18期	190,963,437	183,440,133	9,606	20	0.20	
第19期	155,060,550	146,883,113	9,473	20	0.20	
第20期	155,085,294	147,724,401	9,525	20	0.20	
第21期	146,947,080	137,765,027	9,375	20	0.20	
第22期	146,972,186	137,566,280	9,360	20	0.20	
第23期	146,997,389	136,650,881	9,296	20	0.20	
第24期	147,022,817	126,446,891	8,600	20	0.20	
第25期	134,678,197	120,991,537	8,984	20	0.20	
第26期	134,704,627	117,533,386	8,725	20	0.20	
第27期	125,037,281	108,447,175	8,673	20	0.20	
第28期	124,564,783	100,188,169	8,043	20	0.20	
第29期	109,939,919	90,119,152	8,197	20	0.20	
第30期	109,969,156	91,407,329	8,312	20	0.20	
第31期	104,860,240	85,221,358	8,127	20	0.20	

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 32 期	104,864,227円	86,423,208円	8,241円	20円	0.20%
第 33 期	94,774,707	81,163,469	8,564	20	0.20
第 34 期	94,733,712	83,121,235	8,774	20	0.20
第 35 期	94,749,233	82,244,599	8,680	20	0.20
第 36 期	84,736,562	72,972,317	8,612	20	0.20
第 37 期	84,898,588	72,727,692	8,566	20	0.20
第 38 期	84,907,365	74,609,437	8,787	20	0.20
第 39 期	83,994,970	76,407,473	9,097	20	0.20
第 40 期	83,002,767	77,068,276	9,285	20	0.20
第 41 期	83,009,958	79,402,271	9,565	20	0.20
第 42 期	83,016,281	79,484,855	9,575	20	0.20
第 43 期	80,977,732	78,416,138	9,684	20	0.20
第 44 期	78,073,841	76,342,935	9,778	20	0.20
第 45 期	76,411,215	75,217,179	9,844	20	0.20
第 46 期	76,464,821	75,523,455	9,877	20	0.20
第 47 期	72,592,669	72,142,596	9,938	20	0.20
第 48 期	72,415,737	68,108,799	9,405	20	0.20
第 49 期	72,439,183	67,775,957	9,356	20	0.20
第 50 期	72,443,567	68,046,323	9,393	20	0.20
第 51 期	71,447,635	63,971,641	8,954	20	0.20
第 52 期	70,461,792	62,991,690	8,940	20	0.20
第 53 期	70,476,003	64,265,371	9,119	20	0.20
第 54 期	70,489,966	62,830,786	8,913	20	0.20
第 55 期	70,504,281	64,307,706	9,121	20	0.20
第 56 期	70,518,300	62,051,181	8,799	20	0.20
第 57 期	70,532,864	60,946,710	8,641	20	0.20
第 58 期	66,600,105	56,553,083	8,491	20	0.20
第 59 期	66,618,129	56,890,598	8,540	20	0.20

償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税引前)	8,483円64銭
------------------	-----------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは取扱販売会社までお問い合わせ下さい。

DIAMケイマン・ファンド・ダイヤモンド・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

＜カレンシーオープン（毎月決算）クラス＞
 ＜カレンシープレミアム（毎月決算）クラス＞

当ファンドは「DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
投資対象	<p>主として欧州の金融機関^{(*)1}が発行するユーロ建てのハイブリッド証券^{(*)2}、ならびに円に対するユーロのコール・オプション取引（カレンシープレミアム（毎月決算）クラスのみ）を投資対象とします。</p> <p>(*)1 欧州の金融機関とは、欧州地域（欧州連合（EU）加盟国、スイス、ノルウェー）に本店が所在する金融機関（金融機関に関連する特別目的会社、保険会社を含みます）をさします。</p> <p>(*)2 ハイブリッド証券とは、債券と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債券、優先出資証券などをさします。</p>
投資態度	<p>①主として欧州の金融機関が発行するユーロ建てのハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。</p> <p>②ハイブリッド証券への投資にあたっては、信用リスクに留意しつつバリュエーションの観点も踏まえて銘柄を選定します。</p> <p>③投資対象とするハイブリッド証券は、取得時においてBBB格相当以上^{(*)3}の格付が付与されている銘柄とします。</p> <p>(*)3 ムーディーズでBaa3以上、スタンダード&プアーズでBBB-以上、フィッチでBBB-以上とし、複数の格付機関が付与している場合は最も高い格付を採用します。</p> <p>④同一発行体の発行する証券への投資は、原則として、取得時において純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑤組入外貨建て資産に対する為替運用戦略は、各クラスによって以下のとおりとします。</p> <p>＜カレンシーオープン（毎月決算）クラス＞ 原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>＜カレンシープレミアム（毎月決算）クラス＞ 原則として対円での為替ヘッジを行いません。また、円に対するユーロのコール・オプションを売却し、オプション・プレミアムの獲得をめざします。</p>
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②流動性に欠ける資産への投資は、価格の透明性を確保する適切な措置が講じられない限り、信託財産の純資産総額の15%を超えないものとします。</p> <p>③信託財産の純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</p> <p>④投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <p>⑤金融商品取引法上の有価証券および有価証券関連デリバティブ取引への投資比率は信託財産総額の50%以上とします。</p>
投資顧問会社	アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッド
受託銀行	CIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー

D I AMケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2017年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2017年12月31日現在の財務諸表の原文の一部を抜粋・翻訳したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（ダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

損益計算書
自 2017年1月1日 至 2017年12月31日
 (日本円建て)

投資収益		
受取利息－源泉税控除	¥	48,039,702
投資収益合計		48,039,702
費用		
投資運用報酬		6,761,557
保管手数料		4,245,864
専門家報酬		3,906,921
会計処理・管理事務手数料		2,687,668
信託報酬		2,243,032
証券代行手数料		394,392
その他費用		401,192
費用合計		20,640,626
純投資収益		27,399,076
実現損益および未実現評価損益の純変動：		
実現損益：		
投資有価証券売却		(58,061,401)
外貨取引および為替先渡契約		7,923,111
売建オプション		(49,553,972)
実現純損失		(99,692,262)
未実現評価損益の純変動：		
投資有価証券		260,891,529
外貨取引および為替先渡契約		(1,053,381)
売建オプション		(9,740,677)
未実現評価益の純変動		250,097,471
実現損失および未実現評価益の純変動		150,405,209
運用による純資産の純増額	¥	177,804,285

	発行済受益権口数	1口当たりの純資産価額
OAクラス	1,178	¥11,206
OMクラス	7,606	¥9,605
PAクラス	13,573	¥11,288
PMクラス	203,974	¥4,773

(注) D I AMケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドは複数のクラスで構成されています。上記のOAクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)」が投資するカレンシーオープン (年1回決算) クラス、OMクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)」が投資するカレンシーオープン (毎月決算) クラス、PAクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替プレミアム (年1回決算型)」が投資するカレンシープレミアム (年1回決算) クラス、PMクラスは、「D I AM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替プレミアム (毎月決算型)」が投資するカレンシープレミアム (毎月決算) クラスです。

要約組入資産明細
2017年12月31日現在

銘柄	元本金額	取得原価	公正価値	対純資産 比率	
確定利付証券					
社債					
ベルギー					
金融		¥ 26,227,111	¥ 27,135,293	2.2%	
デンマーク					
金融		27,800,964	28,884,904	2.4%	
フランス					
金融					
Banque Federative du Credit Mutuel S.A. 3.00% due 05/21/24	EUR	500,000	69,602,635	74,894,598	6.2%
その他			78,172,589	84,404,127	6.9%
フランス合計			<u>147,775,224</u>	<u>159,298,725</u>	<u>13.1%</u>
ドイツ					
金融			168,879,908	178,939,390	14.8%
アイルランド					
金融					
Aquarius & Investments PLC for Zurich Insurance Co., Ltd. 4.25% due 10/02/43	EUR	400,000	58,682,741	63,046,694	5.2%
イタリア					
金融			161,192,247	170,190,107	14.0%
オランダ					
金融					
ELM BV for Swiss Reinsurance Co., Ltd. 2.60%	EUR	500,000	66,081,109	70,839,808	5.8%
その他			172,323,952	188,262,410	15.6%
オランダ合計			<u>238,405,061</u>	<u>259,102,218</u>	<u>21.4%</u>
スペイン					
金融			39,964,083	42,563,174	3.5%
スウェーデン					
金融			13,862,987	14,333,383	1.2%
英国					
金融			219,345,110	233,214,784	19.2%
社債合計			<u>1,102,135,436</u>	<u>1,176,708,672</u>	<u>97.0%</u>
確定利付証券合計			<u>1,102,135,436</u>	<u>1,176,708,672</u>	<u>97.0%</u>
現金およびその他資産に対する負債超過額				<u>36,400,358</u>	<u>3.0%</u>
純資産			¥	<u>1,213,109,030</u>	<u>100.0%</u>

クラス・カレンシー・プレミアム（年一回）－2017年12月31日現在の売建オプション残高（対純資産比率 －0.2%）：

銘柄	権利行使価格	満期日	枚数	プレミアム受取額	公正価値
コール－店頭 ユーロ・日本円	¥ 133	01/19/2018	1,135,000	¥ (1,006,467)	¥ (2,386,649)

クラス・カレンシー・プレミアム（毎月）－2017年12月31日現在の売建オプション残高（対純資産比率 －1.3%）：

銘柄	権利行使価格	満期日	枚数	プレミアム受取額	公正価値
コール－店頭 ユーロ・日本円	¥ 133	01/19/2018	7,415,000	¥ (6,575,284)	¥ (15,592,070)

デリバティブ商品の評価額

当ファンドのデリバティブ・ポジション（差金決済契約が適用されうるポジションを含む。）の概要は、以下の通りです。

契約先	契約先とのマスター 差金決済契約運用対象の デリバティブ負債	相殺可能な デリバティブ	非現金担保 差入額	現金担保 差入額	デリバティブ 負債純額*
JP Morgan Chase Bank N.A.	¥ (17,918,719)	¥ -	¥ -	¥ -	¥ (17,918,719)
	¥ (17,918,719)	¥ -	¥ -	¥ -	¥ (17,918,719)

*純額とは、デフォルト発生時に契約先から受け取る未収入金、または契約先に支払う未払金を指します。差金決済は、同一法人と交わした同一の法的契約に基づき売買される取引において認められています。

通貨略称：

EUR－ユーロ

¥－日本円

D I AMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドの組入上位10銘柄

2017年12月29日現在

No.	銘柄名	国	金額 (円)
1	BANQUE FED CR 3% 05/21/24/EUR/	フランス	74,894,598
2	ELM BV (SWISS V/R /PERP//EUR/	オランダ	70,839,808
3	AQUA + INV (V/R 10/02/43/EUR/	アイルランド	63,046,694
4	ASSICURAZION V/R 07/10/42/EUR/	イタリア	56,006,656
5	HBOS PLC V/R 03/18/30/EUR/	イギリス	55,572,500
6	BARCLAYS PLC V/R 02/07/28/EUR/	イギリス	53,871,701
7	ABN AMRO 7.125% 07/06/22/EUR/	オランダ	51,851,726
8	MUNICH RE V/R 05/26/42/EUR/	ドイツ	50,018,153
9	ALLIANZ SE V/R /PERP//EUR/	ドイツ	48,197,445
10	AVIVA PLC V/R 07/03/44/EUR/	イギリス	45,783,035

(注) 上記内容は、D I AMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドの管理事務代行会社であるブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コーのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。

D I A Mマネーマーケットマザーファンド

運用報告書

第5期 (決算日 2018年3月13日)

(計算期間 2017年3月14日～2018年3月13日)

D I A Mマネーマーケットマザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2013年3月19日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約 権付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	期騰落	中率				
(設定日) 2013年3月19日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 3
1期(2014年3月13日)	10,011	0.1	64.6	-	-	21
2期(2015年3月13日)	10,024	0.1	97.3	-	-	18
3期(2016年3月14日)	10,038	0.1	95.9	-	-	78
4期(2017年3月13日)	10,037	△0.0	65.9	-	-	78
5期(2018年3月13日)	10,031	△0.1	72.0	-	-	78

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

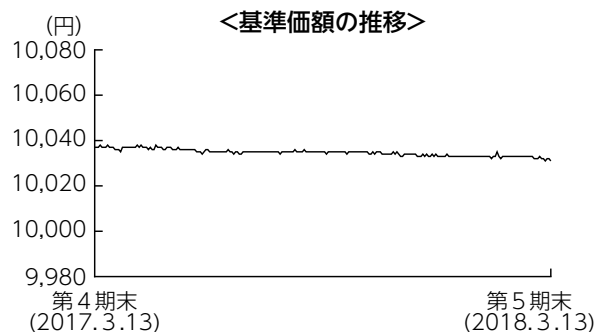
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2017年 3 月 13 日	10,037	% -		% 65.9	% -		% -
3 月 末	10,036	△0.0		65.9	-		-
4 月 末	10,038	0.0		65.8	-		-
5 月 末	10,036	△0.0		65.8	-		-
6 月 末	10,034	△0.0		65.7	-		-
7 月 末	10,035	△0.0		65.7	-		-
8 月 末	10,035	△0.0		65.6	-		-
9 月 末	10,035	△0.0		65.5	-		-
10 月 末	10,034	△0.0		69.3	-		-
11 月 末	10,033	△0.0		69.2	-		-
12 月 末	10,033	△0.0		69.2	-		-
2018年 1 月 末	10,033	△0.0		75.6	-		-
2 月 末	10,032	△0.0		97.4	-		-
(期 末) 2018年 3 月 13 日	10,031	△0.1		72.0	-		-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2017年3月14日から2018年3月13日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,031円となり、前期末比で0.1%下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀によるマイナス金利政策等の影響や、期初の国庫短期証券の買入れ減額によって利回りが上昇（価格は下落）したことで、基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.35\% \sim \Delta 0.09\%$ 近辺で推移しました。期初には、日銀による国庫短期証券の買入れ減額などを受けて利回りが大きく上昇しました。その後は、米国での債務上限問題によって米国の財務省短期証券の代替として一部の資金が海外から日本の国庫短期証券に流入したことなどが利回りの低下（価格は上昇）要因となる一方、日銀による金融緩和策縮小への思惑などが上昇要因となるなど、もみ合う展開となりました。

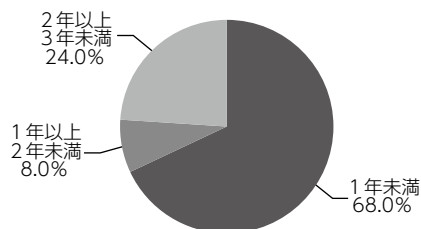
ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

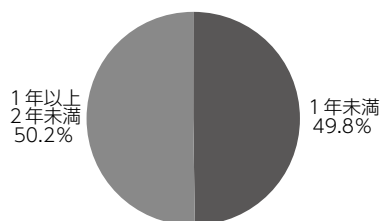
【運用状況】

○残存年限別構成比 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2017年3月14日から2018年3月13日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国 債 証 券	千円 20,056	千円 — (—)
	地 方 債 証 券	3,003	— (—)
	特 殊 債 券	17,240	— (35,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2017年3月14日から2018年3月13日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 40	百万円 35	% 87.5	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 20,000	千円 20,047	% 25.5	% -	% -	% -	% 25.5
地 方 債 証 券	6,100	6,138	7.8	-	-	-	7.8
特 殊 債 券	30,000	30,453	38.7	-	-	-	38.7
合 計	56,100	56,638	72.0	-	-	-	72.0

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
1 1 4 回 利付国庫債券（5年）	0.3000	20,000	20,047	2018/09/20
小 計	-	20,000	20,047	-
(地方債証券)	%	千円	千円	
2 回 東京都公募公債（東京グローバル都債（円貨））	0.1200	1,000	999	2018/12/07
2 5 年度 8 回 福岡県公募公債	0.2700	1,000	999	2018/12/25
2 5 年度 3 回 千葉市公募公債	0.2500	1,100	1,099	2018/12/26
2 6 年度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	1,000	998	2019/06/27
1 6 6 回 神奈川県公募公債	1.3600	1,000	1,020	2019/09/20
2 1 年度 2 回 京都府公募公債	1.4000	1,000	1,020	2019/09/25
小 計	-	6,100	6,138	-
(特殊債券)	%	千円	千円	
8 8 5 回 政保公営企業債券	1.7000	3,000	3,009	2018/05/22
1 5 回 政保東日本高速道路債券	1.3000	2,000	2,025	2019/02/25
4 回 政保阪神高速道路会社債	1.3000	15,000	15,201	2019/03/18
7 回 政保地方公営企業金融機構債券	1.4000	1,000	1,015	2019/04/15
8 7 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.5000	9,000	9,201	2019/08/30
小 計	-	30,000	30,453	-
合 計	-	56,100	56,638	-

■投資信託財産の構成

2018年3月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 56,638	% 72.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	22,038	28.0
投 資 信 託 財 産 総 額	78,677	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月13日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	78,677,477円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	21,884,680
公 社 債(評価額)	56,638,950
未 収 利 息	76,141
前 払 費 用	77,706
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	78,677,477
元 本	78,432,736
次 期 繰 越 損 益 金	244,741
(D) 受 益 権 総 口 数	78,432,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,031円

(注1) 期首元本額 78,432,736円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 0円

(注2) 期末における元本の内訳
USストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型 5,995,005円
USストラテジック・インカム・アルファ 年1回決算型 2,398,003円
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替ヘッジなし(毎月決算型) 151,597円
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替ヘッジなし(年1回決算型) 50,463円
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替プレミアム(毎月決算型) 4,150,985円
DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド為替プレミアム(年1回決算型) 701,252円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型) 44,851,989円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド(年2回決算型) 19,934,218円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり(毎月決算型) 99,612円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり(年2回決算型) 99,612円
期末元本合計 78,432,736円

■損益の状況

当期 自2017年3月14日 至2018年3月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	504,798円
受 取 利 息	524,308
支 払 利 息	△19,510
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△551,334
売 買 損	△551,334
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△46,536
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	291,277
(E) 合 計(C+D)	244,741
次 期 繰 越 損 益 金(E)	244,741

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

《お知らせ》

■当ファンドにおいて、信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(平成30年3月1日)